

<全体分析>

試験時間	120 分	解答問題数	4 題
------	-------	-------	-----

解答形式

記述形式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

融合問題や条件の複雑な問題があった

その他トピックス

Ⅲ型との共通問題が1題出題された

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	確率	A	2チームが試合をして優勝チームが決まる確率 (ホームゲームで確率が変わる)	標準
2	数列	B	格子点に番号をつける群数列	標準
3	整数	A	6で割った余りが等しいことの証明 整数階	標準
4	2次関数 式と証明 積分法	I II II	2点を通る放物線のy座標の最小値 相加平均と相乗平均の大小関係 放物線と直線で囲まれる図形の面積	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

入試における典型問題をしっかりと演習し、融合問題においても解法や公式を使うタイミングを見極められる力を養っておきたい。